



地域連携担当教職員等研修会

令和6年7月29日(月)福島市松川学習センターにおいて、県北域内の学校関係者、各市町村行政担当者計21名参加のもと標記研修会を開催しました。

この研修会は、学校と地域との連携・協働の意義について学び、様々な立場の方と推進の方策等について考え、話し合うことで、地域連携担当教職員等の資質向上を図ることを目的として実施しています。

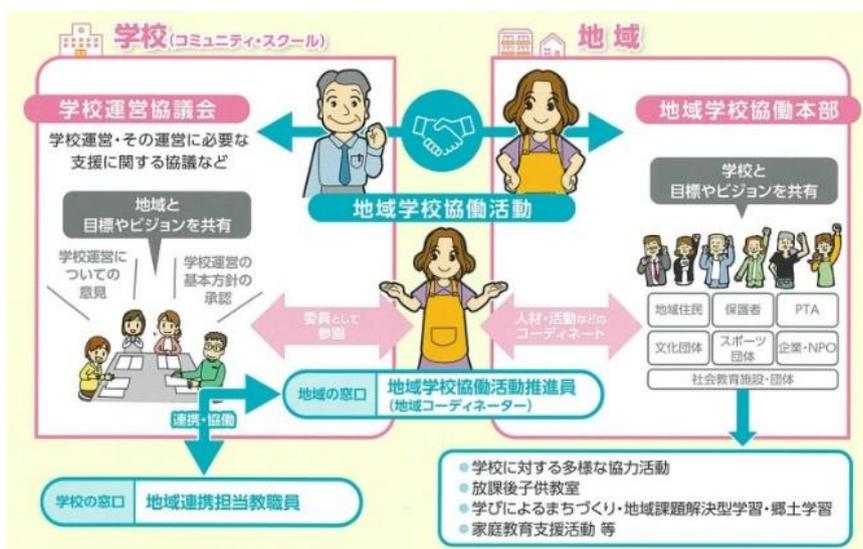
1 講話 「地域と共にある学校をめざして」 県北教育事務所 佐藤 秀敬

地域における教育力の低下や家庭の孤立化、学校が抱える課題の解決のために、社会総掛かりで対応することが求められています。そのためには、地域と学校がパートナーとして連携・協働するための組織的・継続的な取組が必要不可欠です。



.....地域学校協働活動の推進.....

「地域学校協働活動」とは、幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動です。



【地域と学校が協働することでの効果】

【児童生徒にとって】

- ①学力向上の基盤をつくります
- ②「生きる力」の育成につながります
- ③社会性が生まれます

【地域にとって】

- ①地域の教育力が向上します
- ②地域コミュニティが活性化します
- ③生きがいづくりや自己実現につながります

【学校・教職員にとって】

- ①授業内容が充実します
- ②地域との信頼関係が構築されます
- ③地域への理解が深まります
- ④多忙化解消につながります

2 事例発表 「和田小学校の学校支援地域本部設置からこれまでの歩み」

山形県東置賜郡高畠町立和田小学校 教頭 市川 敦司 氏

和田小学校には、伝統的に学校を地域ぐるみで支える地盤がありました。子どもたちの健やかな成長を支える活動をより一層幅広く組織的に行うために、平成20年度に学校支援地域本部が設置されました。現在、地域学校協働活動推進員が配置され、学校と地域の架け橋として活動しています。



農業体験



のこぎりの指導

成果(児童)

- 五感を使った体験的な活動をすることができます。
- 植物の生長過程を知ることができます。
- わからない時はすぐに教えてもらえます。
- 大人と会話する力がついてきます。

成果(学校・教職員)

- 教職員とボランティアの打合せはほとんどありません。推進員が担任と打合せをした上で日程、内容、ボランティアの人数などを調整しています。
- 児童の様子をじっくり観察できる貴重な時間になっています。
- 複数の目で児童の様子を見ることができます。
- 安全に配慮する上で助かっています。



九九の確認



ミシンの指導

学校、推進員の役割分担が明確になっていて、学習活動を円滑に進められています。

3 熟議 「地域人材を活用した学習活動をスムーズに進めるためには」



参加者が、5～6人のグループに分かれて熟議を行いました。話し合いの中で、
「学校で資料のファイルを作り、次の担当者へ引き継ぎをする」
「公民館とつながりを見つけ、利用する」
「教育計画に地域人材を活用するところを明記しておく」
「学校、コーディネーター、地域の役割分担を明確にする」
などの意見が出されました。お互いの立場や役割への理解が深まったと思います。

【参加者アンケートより】

- 学校の課題について自治体の方と情報共有ができてよかったです。
- コミュニティ・スクールを運営するにあたり、どのようなことが課題になっているのかを知ることができました。

【今後に向けて】

子どもを中心に地域、家庭、学校、行政が連携・協働し子どもを育むことができるよう、県北教育事務所は、コミュニティ・スクールや地域学校協働活動の充実に向けて地域と学校を支援していきます。

より詳しい研修会の様子について知りたい方は

県北教育事務所 総務社会教育課 佐藤まで

電話 024-521-2814

E-mail satou_hidetaka_01@pref.fukushima.lg.jp

【参考】

文部科学省「これからの学校と地域」

